

樹脂バンパー補修事例の紹介(その3)

前回に引き続き、あいおいニッセイ同和自動車研究所のバンパー補修セミナーで行っている、樹脂バンパー補修事例を紹介します。

簡易な樹脂バンパーの補修

擦り傷の補修を行うに当たり、作業時間をできるだけ短く、使用する材料もできるだけ少なくすることを重点に考えた、簡易補修にて作業を行いました。

擦り傷



擦り傷(一部深い傷がある状態)



足付け



浅い擦り傷と、一部深い傷が混在している状態です。最初に清掃し傷の周りの足付けをおこないます。浅い擦り傷を研磨しフェザーエッジを作ります。

傷の研磨



フェザーエッジング



可視光パテを充填



可視光パテ



可視光パテは、目に見える光に反応して硬化するパテです。作業灯を使用して照射し硬化時間は約1分間でした。

作業灯を照射



プラサフ塗布



カラータッチペンを希釈計量



可視光パテで傷に充填し、パテを研磨します。上塗り用のマスキングを施してからPPプライマー塗布して、一液エアゾールタイプのプラサフで塗布します。今回の上塗り塗装は、市販のカラータッチペンを使用して調色は無で行いました。クリヤーは一液型ウレタンクリヤーを使用しました。

上塗り塗装



簡易補修による仕上がり



終わりに

作業時間短縮のため、作業内容の簡素化と使用する材料にこだわった作業です。こちらの作業も当自動車研究所のバンパー補修ステップアップコースで研修を行っていますので、是非受講してください。